

Success  
measure lectureOne day of an  
interior  
coordinator

# インテリアコーディネーターの1日

様々なシーンで活躍するHIPSの卒業生たち。  
インテリアコーディネーターのある1日取材しました。

広がる活躍の場

## お客様のセンス、思い入れのある家具。モノを“調和”させる仕事

同じコーディネートはひとつとない。100人100様の好みに対応し、時代の変化、流行の変化も常に感じとっていかねなければならない。だから、どんなにベテランになっても毎日が勉強、毎日が新人。

Point!

インテリアコーディネーターの  
ある一日

8:30

## 現場にて確認

全面リフォームの案件で、ベんキの色合わせのために郊外の住宅地へ直行。職人さんの朝は早い。猛暑の日で冷房もなく汗だくに。虫よけスプレーも必携。

13:30

## ミーティング

スタッフ5名が揃ったので、ひさしぶりにミーティング。現場への直行直帰が多いのでなかなか顔を合わせられないが、今後の展示会のスケジュールなどを打ち合わせ。



18:30

## お客様のご自宅へ訪問

5年前にリフォームを手掛けたお客様宅を訪問。共働きのご家庭なので遅い時間のアポイント。奥様の腰痛対策にキッチンカウンターの高さを変更したいのご相談。これを期にキッチンに続くリビングもプチリフォームしたいとのこと。キッチンのパネルや床材の見本集をたくさん持って行く。前回のリフォームも好評で、丁寧に暮らしている様子に、とても嬉しくなった。



パネルを交換するだけでも違う印象に。

たきわき  
りか  
滝脇 里佳

お客様の要望をよく聞くこと。  
それが仕事の第一歩です。

1994年インテリアコーディネーター資格取得。二級建築士の資格も取得し、2006年にルシア株式会社を設立。現在は女性5名で、主に一般住宅やマンションのリフォーム案件を手掛ける。

大手の不動産管理会社などと業務提携して紹介を受け、小さなリフォーム案件から住まいの買い替え相談まで幅広く手掛けています。この業界で女性だけの事務所は非常に珍しい存在。リフォーム相談を受ける際には実際に家の中を見る必要があるため、女性であることは大きな強みになります。この仕事の魅力は、お客様とのお付き合いが長く続くこと。子どもが成長して家の買い替えをしたお客さまが、子どもの独立を機に夫婦それぞれの趣味の部屋を作ったり、別荘を購入する際に家具選びを任せてくださったり。カーテンのかけ替

えやクロスの貼り替えのたびに声をかけてくださる方も多く、訪問するたびに懐かしい我が家に帰るような気がします。

インテリアコーディネーターに最も必要な資質はヒアリング力。お客様のライフスタイルや要望をよく聞き出して理解しなければ、喜んでいただけるような提案はできないからです。私たちはあらゆるアイテムをコーディネートするプロ。ですから、日ごろから世の中の流行に関心を持ち、分からないことは勉強して吸収していく姿勢が大切です。その熱心さに、お客さまは付いてきてくれるのだと思っています。

## STEPUP

### 資格を生かして長く働けることが大きな魅力

一般企業の営業職だった私が資格を取ったのは、結婚後も自分のセンスを武器に生き生きと働きたかったから。女性ならではの目線を生かして生活動線に配慮したリフォームを考えたり、収納やキッチンのリニューアルでも主婦の感覚を生かすことができます。高齢化に伴うリニューアルでは細やかな気遣いが好評です。お客さまから手作りの感謝状をいただいたときは、嬉しかったですね。

